

令和8年度 第1回学校運営協議会 会議録

令和8年5月21日（木）13:20～16:00 二宮小学校コミュニティルーム

出席者：飯塚、池田、岩田、大矢、小笠爲、木川、掬川、津村、春木、山内
和田、境野、新宮

（1）校内見学 5時間目（13：20～14：05）

（2）自己紹介

（3）会長等役員及び部員の選出

会長：池田

校外安全部会：小笠爲、成岡、筑紫 環境整備部会：木川、津村

学びふれあい部会：飯塚、岩田、掬川、春木、山内 その他部会：大矢

（4）学校の運営方針、学校予算等について

グランドデザイン・学校教育目標は了承を得る。予算については確定次第、改めて最新版をお示しすることとなった。

（質問・意見）

- ・学校評価のアンケート結果について、児童と保護者の反応にギャップがあった。保護者の「分からない」という回答が多いことから、学校と保護者との距離が離れつつあることが伺える。今年度はこのギャップを埋めるべく、ITの活用も含め、学校からの情報発信の方法について一緒に考えていきたい。
- ・教育目標や学校研究について、「学び」や「教育」という言葉が勉強だけを意味しているようにも読み取れる。「学ぶ」とは「よい大人になる」ということであり、学習能力だけを指すのではないということが伝わるとよい。
- ・今年度の学校研究の講師は横浜国立大学大学院の青木教授とのことだが、どのように関わるのか。
→「自ら進んで学び続ける子どもを目指して～どの子も「分かった、できた、楽しい」を実感する授業づくり～」をテーマに据えて研究を進めている。年間4回授業研究を実施し、助言をいただく予定である。
- ・インクルーシブ教育に関して、どのように取り組んでいるのか。
→ 昨年度から引き続き、神奈川県教育委員会の施策による「インクルーシブ教育校内支援体制整備事業」の指定校となった。教育相談コーディネーターがインクルーシブ教育を推進していくために後補充非常勤職員が配置されている。
- ・スポーツに集団で取り組むと、豊かな心を育むことにつながる。学校でも何か取り組みがあるとよい。

(5) 各部会より

【校外安全部会】

- ・ 5月19日（火）に、にのっこ見守り日を実施
- ・ 各地区の登下校についての反省と課題点を共有。プレートをかけている大人は保護者だということが児童に浸透していない。挨拶や声掛けを続けるほか、学校からも引き続き指導をしてほしい。
- ・ 道路交通法の改正による自転車のルールの変更に関して、標識の設置が必要な箇所等を共有した。

【学びふれあい部会】

- ・ ボランティア活動について、昨年度の後半はインフルエンザの流行もあり、あまり活動ができなかった。ボランティア登録のシステムを始めたが、他校でも取り入れたいという声が上がっている。ゆくゆくは町で管理するボランティアバンクのような形にできるとよい。
- ・ ボランティアを募るにはある程度の期間が必要。早めにお知らせいただけるとありがたい。
- ・ 放課後子ども教室について、天候や暑さの問題もあり実施できる期間が短くなっている。ラディアンを活用して、夏休み中にも活動する予定。子どもと一緒にスポーツができる方が参加してくれるとありがたい。

【環境整備部会】

- ・ 昨年度までは、栽培担当の教員が道具の準備や連絡調整を担当していた。今年度はどうなるのか。
→ 今年度も栽培担当の教員からご連絡する（校長をとおしても可）。

【その他部会】

- ・ 他の部会では対応できない課題があるとき、柔軟に対応できるよう発足した部会なので、必要に応じて相談していただきたい。

(6) 当面の活動日程について

- ・ 今後は、9月上旬、11月上旬、2月上旬に開催予定。1ヵ月前をめどに日程調整を予定

(7) 教職員に学校運営協議会委員を紹介